

- 問1 日本の工業製品であるIC（集積回路）の輸送方法について述べた文として、その理由と背景が最も適切に説明されているものを選択してください。（2018年 佐賀県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 全国に広がる高速道路網を利用し、戸別配送が可能な自動車輸送が主力となっている。 | 2. 製品が軽くて高価であり、輸送時間を短縮する利点が大きいため、航空輸送が利用される。 | 3. 製品が重く大量の輸送が必要なため、一度に多くの荷物を運べる船舶輸送が利用される。 | 4. かつては鉄道輸送が主流であったが、排気ガスによる公害を防ぐために航空輸送へ転換された。 |
|--|--|---|--|
- 問2 日本において茶の栽培が盛んな静岡県や宮崎県などの地域に共通して見られる、気候上の特徴として最も適切なものはどれですか。（2020年 滋賀県公立入試 類似）
- | | | | |
|---------------------------------------|---|-----------------------------------|--|
| 1. 夏は高温多湿であるが冬の寒さが厳しく、一月の平均気温が零度を下回る。 | 2. 一年を通して温暖であり、一月の平均気温が零度を下回らず、九月の降水量が多い。 | 3. 一年を通して気温の変化が小さく、八月に降水量のピークがある。 | 4. 年間降水量は多いが、特に九月の降水量が百ミリメートルを下回るほど乾燥する。 |
|---------------------------------------|---|-----------------------------------|--|
- 問3 日本の貿易の変遷に関する統計において、1960年ごろには輸入の多くを石油や石炭、繊維原料などの資源が占める一方で、輸出の多くを鉄鋼や機械類などの工業製品が占めていました。このような、海外から原料を輸入して国内で製品に加工した上で輸出する貿易形態を何といえますか。（2020年 香川県公立入試 類似）
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 垂直分業 | 2. 自由貿易 | 3. 中継貿易 | 4. 加工貿易 |
|---------|---------|---------|---------|
- 問4 日本の漁業において、かつての「とる漁業」から、資源を管理しながら増やす「育てる漁業」への転換が進んでいます。この「育てる漁業」の主な形態として適切な組み合わせはどれですか。（2017年 沖縄県公立入試 類似）
- | | | | |
|--------------|-------------|---------------|-----------------|
| 1. 遠洋漁業と沖合漁業 | 2. 栽培漁業と養殖業 | 3. 沿岸漁業と動力船漁業 | 4. 定置網漁業と底引き網漁業 |
|--------------|-------------|---------------|-----------------|
- 問5 日本のエネルギー資源と発電所の立地に関する説明として、最大出力150万キロワットを超えるような大規模な火力発電所の特徴を正しく述べているものはどれですか。（2023年 広島県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|--------------------------------------|-------------------------------------|----------------------------------|
| 1. 地震や津波の被害を避けるため、海から離れた内陸部の空港付近に立地している | 2. 送電中の電力ロスを避けるため、燃料の産地である山間部に立地している | 3. 原料の輸入に有利な、大型船の入港が可能な沿岸部に多く立地している | 4. 落差の大きい水が得られる、急峻な河川の上流部に集中している |
|---|--------------------------------------|-------------------------------------|----------------------------------|
- 問6 日本の貿易統計において、成田国際空港のような空港での貿易で「医薬品」や「通信機」といった品目が上位に入る一方で、横浜港のような港での貿易で「自動車」が上位に入る理由として、最も適切な説明はどれですか。（2018年 兵庫県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 近年、自動車の輸出は小型化が進んだため、横浜港のような大規模な港ではなく航空機による輸出が主流になりつつあるため。 | 2. 航空輸送は船舶よりも一度に運べる荷物の総重量が大きいため、精密機械などの重い製品の輸送に向いているため。 | 3. 港の周辺には工業地帯が形成されないため、完成した製品を運ぶには内陸にある空港の方が効率が良いため。 | 4. 航空輸送は運賃が高いため、重量の割に価格が高い製品が選ばれ、船舶輸送は重量物の大量輸送に適しているため。 |
|--|---|--|---|
- 問7 輸出入ともに半導体などの電子部品、医薬品、通信機が上位を占めており、輸出額が約9兆円に対して輸入額が約11.3兆円に達する貿易拠点があります。この拠点が担う貿易の形態と、その特徴の説明として適切なものを選択してください。（2018年 岩手県公立入試 類似）
- | | | | |
|------------------------------------|--|--|--|
| 1. 航空機を利用した航空貿易を行い、軽量で高付加価値な製品を扱う。 | 2. 専用のタンカーを用いた海上貿易を行い、原油や天然ガスなどの資源を扱う。 | 3. 大型のコンテナ船による海上貿易を行い、衣類や食料品などの消費財を扱う。 | 4. 鉄道やトラックを用いた陸上輸送を行い、近隣諸国との間で部品をやり取りする。 |
|------------------------------------|--|--|--|
- 問8 日本各地で進められている新幹線の整備は、特定の区間が開通することで都市間の「時間的距離」を短縮することを目的としています。このような高速交通網の拡充が地域社会や経済に与える影響について述べた文として、最も適切なものはどれですか。（2022年 広島県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 移動時間が短縮されることで、観光客の増加やビジネスの効率化など、広域的な経済交流が促進される | 2. 新幹線が開通したすべての地域において、在来線の維持管理コストが不要になり、鉄道会社の利益が大幅に増える | 3. 高速交通網の整備により、すべての地方都市において大都市への人口流出が完全に停止する | 4. 移動の利便性が高まることで、地方の消費者が地元のみで買い物をするようになり、地域経済が閉鎖的になる |
|---|--|--|--|
- 問9 現代の日本が直面している「少子高齢化と人口減少」という課題について、その内容と社会への影響を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。（2018年 秋田県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 都市部への人口集中が改善されたことで地方の若者が増え、全国的に人口減少の傾向が止まり、現役世代の負担が軽減されること。 | 2. 出生率が向上して子供の数が増える一方で、65歳以上の人口が急減したことにより、日本の人口構造が若返ること。 | 3. 医療技術の進歩によって平均寿命が延びた結果、年少人口と高齢者人口がともに増加し、総人口が爆発的に増えていくこと。 | 4. 生まれてくる子供の数が減って年少人口が減少するとともに、65歳以上の人口割合が高まり、国全体の総人口が減っていくこと。 |
|--|--|---|--|
- 問10 近年の日本の農業では、労働力不足や高齢化が課題となる中で、情報通信技術（ICT）などの先端技術を活用した「スマート農業」の導入が進んでいます。この取り組みが農作業の時間や効率にもたらす変化として、統計資料などで示される傾向を最も適切に説明したものはどれですか。（2026年 埼玉県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 穀類の購入量が増加する傾向に合わせ、大規模な農地を確保して人海戦術で生産量を増やすことが、作業効率を上げるための最大の利点である。 | 2. 農産物の生産額の割合を高めることが優先されるため、機械のメンテナンスに要する時間を考慮すると作業時間は全体として増加する。 | 3. ドローンによる農薬散布や遠隔での水管理の導入により、人手による従来の作業と比較して作業時間が大幅に短縮される。 | 4. 先端技術の活用は食料自給率の向上には寄与するが、効率化よりも消費者のニーズに合わせた食品の電子商取引を拡大させることが主な目的である。 |
|--|--|--|--|
- 問11 工業の生産形態を比較した際、電気機械などの近代工業に見られる「加工貿易」の特徴を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。（2025年 山口県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|--|---|---------------------------------------|
| 1. 国内の森林資源を有効活用するため、原材料を未加工のまま海外へ売却する。 | 2. その土地で採れる石材や粘土などの地元資源を主原料として製品を製造する。 | 3. 海外から原材料や燃料を輸入し、国内の高い技術力で製品にしてから輸出する。 | 4. 他国の企業から製造工程のすべてを委託され、組み立てのみを国内で行う。 |
|--|--|---|---------------------------------------|